

インパクト圧着機

NC-E60D-5






取扱説明書



NC-油圧式作業工具総合メーカー

株式会社 西田製作所

このたびは当社製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用されますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、「 警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「 注意」は誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

目次

使用上の注意	3
工具の仕様	4
ダイスと電線の組合せ表	4
各部の名称	5
始めに	6
使用方法	7～9
保守・点検	9
アフターサービス	10

◆使用上の注意

「 警告」

1. 圧着する端子又はスリーブおよび電線とダイスの組合せに誤りのないようにしてください。組合せを誤りますと圧着部の発熱、火災の原因となるおそれがあります。
2. 作業時は周りに人がいない事を確認して下さい。特にヘッドを人のいる方向に向けての使用は絶対にしないでください。破損した場合破片が飛散するおそれがあります。
3. 作業中は手や指をダイスに近づけないようにしてください。はさまれた場合、切断などの重大な事故になるおそれがあります。
4. 可動ピンは確実に差し込んでから圧着をおこなってください。最後まで差込まずに作動させると、部品が破損し飛散するおそれがあります。
5. 高所で作業する場合は下に人がいないことを確かめてから作業を行なってください。材料や工具を落としたとき、重大な事故になるおそれがあります。

「 注意」

1. 空押しおよび空戻し操作は絶対にしないでください。故障の原因となるおそれがあります。
2. 工具を高所から落とすなど過度な衝撃を与えないでください。故障の原因となるおそれがあります。
3. 工具とインパクトドライバとの接続は確実に行ってください。工具の落下など思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
4. 不安定な場所で作業を行なわないでください。脚立の上などで無理な姿勢で作業を行ないますと転倒、転落など事故のおそれがあります。
5. 使用前には各部に異常がないか必ず点検し、異常があるようであれば使用を中止して下さい。
6. 作業中、工具に異常を感じたら直ちに使用を中止して下さい。
7. 本機の分解や改造は行なわないでください。

◆工具の仕様

構造	市販インパクトドライバとの脱着式 インパクト式圧着
適用電線コネクタの種類	JIS C 2805 銅線用圧着端子の裸圧着端子 JIS C 2806 銅線用裸圧着スリーブの 直線突き合わせ用 (B) 直線突き合わせ用 (P)
適用コネクタの呼び	14～60
適応するインパクト工具※1	14.4V 以上のインパクトドライバを対象 としています。(メーカーの指定はあり ません)
適応外工具	インパクトレンチ、ドライバドリル等ビ ットが取付かないもの。 コーナーインパクトドライバ、マルチイ ンパクトドライバ等形状が通常のインパ クトドライバと異なるもの。
質量 (ヘッド部 アーム含む)	1.5 kg

※1 海外製品は未確認のものがありますので弊社にご確認ください。

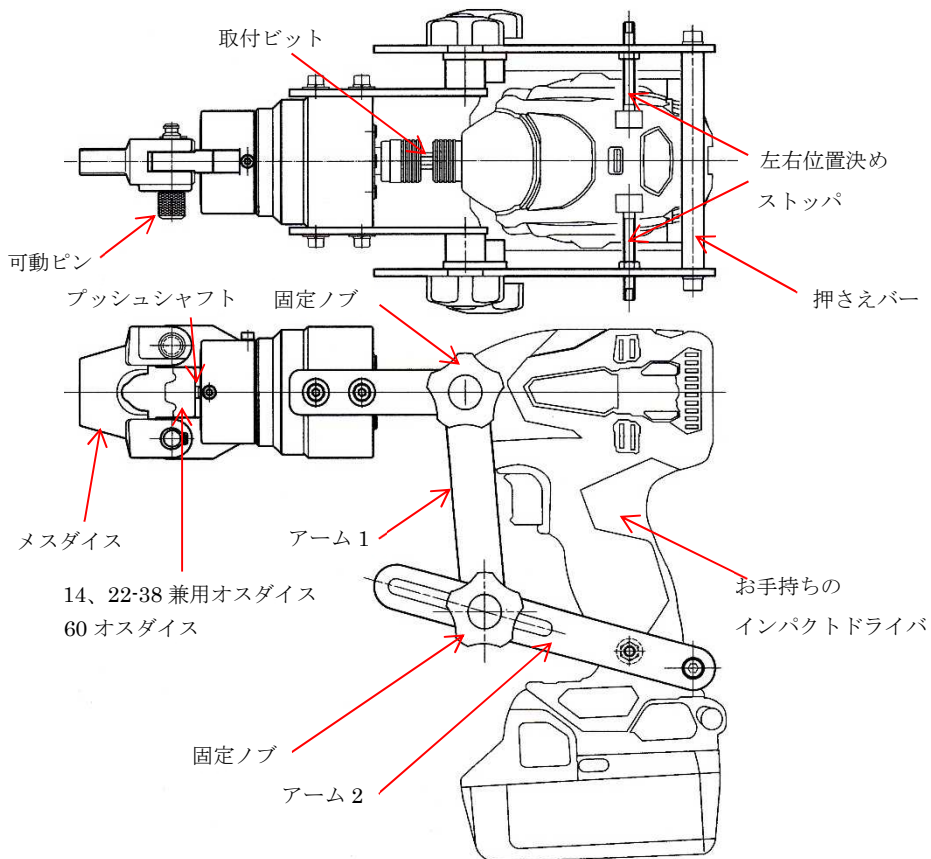
◆ダイスと電線の組合せ表

適応電線コネクタ の呼び	オスダイス	メスダイス
14	※2 14 22-38	14-60 (共通)
22		
38		
60	60	

※2 14と22-38はダイスの方向を90°回転させて使用する。

◆各部の名称

(取付ビットは、Aタイプ 対辺 6.35 mm)



※オスダイスは稼働部分であるプッシュシャフトに装着します。

付属品名	個数
14・22・38兼用オスダイス	1個
60オスダイス	1個
アーム	1組
取扱説明書	1部

◆ 始めに

1. インパクト圧着機「NC-E60D-5」(以下：本機)の取付ビット部をご使用のインパクトドライバに装着して下さい。(ビットの取付取外し方法はご使用のインパクトドライバの取扱説明書を参照ください。)アーム1、アーム2の固定ノブは緩めておいてください。取付け後、取付ビットが抜けないか必ず確認してください。



2. ビットを確実に取り付けたらアーム2をインパクトドライバの後ろ側に回してください。(注 アームを装着する際は、指を挟まないように十分に注意して作業を行なってください。)



3. アーム 2 の押さえバーがインパクトドライバのハンドル部分の外側下（バッテリーに近い側）に当たった状態で固定ノブを固定してください。左右位置決めストoppがインパクトドライバのグリップの両側面にあたるように調整し、ナットでしっかりと固定してください。
4. プッシュシャフトが最後端まで戻っているか確認して下さい。戻っていない場合はインパクトドライバを逆転作動させてプッシュシャフトを戻してください。インパクトドライバからインパクト音が鳴り出したらプッシュシャフトが戻りきった合図ですのでインパクトドライバの作動を即時停止してください。このときプッシュシャフトが最後端まで戻りきっているにもかかわらず、いつまでもインパクトドライバを作動させ続けしないでください。バッテリーの無駄な消耗になるだけでなく、各部に余計な負荷がかかり本機の故障原因にもなります。

「**▲注意**」過負荷の状態を続けると本機の破損の原因となります。
本機への異常な負荷は避けて下さい。

◆使用方法

1. 圧着する端子及びスリーブに適合するダイスを選定し、次の手順で装着します。
 - 1) 可動ピンを抜き、メスダイスを開きます。
 - 2) オスダイスをプッシュシャフトに装着します。
2. メスダイスを閉じ、可動ピンを奥まで確実に差し込みます。

「**▲注意**」可動ピンの挿入が不完全ですと本機が破損しケガをするおそれがあります。可動ピンは確実に差し込んでください。

3. 端子（スリーブ）は、ろう付け箇所をオスダイス側に合わせ、筒部が中心になるように保持しながらインパクトドライバを低速で正転作動させ、端子（スリーブ）が落ちない程度に仮押しし、固定します。

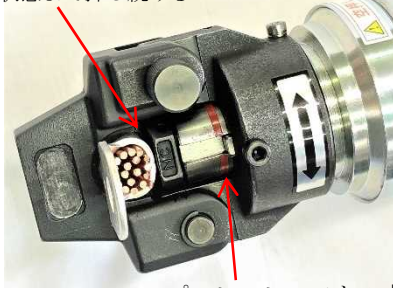
4. 圧着する電線を筒部端より心線が 1 mm 程度出るように被覆をむき、端子（スリーブ）に挿入します。
5. インパクトドライバを正転作動させ圧着を開始します。ある程度負荷がかかると「ガチ、ガチ」とインパクトの音が鳴り出しますが圧着完了ではないのでそのままインパクトドライバを作動させ続けてください。

「**▲警告**」インパクトドライバ作動中は指など体の一部をダイス付近に近づけないで下さい。指づめなどはさみ込みの原因となります。

6. メスダイスとオスダイスの肩の部分が接触すれば圧着完了です。尚、圧着完了時にプッシュシャフトに赤いラインが表れるので目安として下さい。圧着が完了したら直ちにインパクトドライバの作動を停止してください。

圧着が完了したにもかかわらず、インパクトドライバを作動し続けるとバッテリーの無駄な消費だけでなく各部に余計な負荷がかかり本機破損の原因になります。

メスダイスとオスダイスが接触する状態まで押し続ける



プッシュシャフトの赤ライン

「**▲注意**」過負荷による本機破損の場合破損した部品の一部が飛散し作業者もしくは周囲の人がケガをするおそれがあります。本機への異常な負荷は避けて下さい。

7. インパクトドライバを逆転作動させプッシュシャフトを最後端まで戻して下さい。(戻し時の注意事項は前ページの「始めに」4項を参照してください)
8. 可動ピンを抜きメスダイスを開いて、圧着した端子(スリーブ)を抜き取り、圧着マークを確認して下さい。

「▲注意」 前進側および後退側のストロークエンドでの空押しおよび空戻し(前進時圧着端子および電線を挿入せず圧着する状態あるいは後退時インパクト音が鳴り、過負荷がかかる状態)は、本機の故障の原因となりますので絶対行なわないように願います。

<取付ビットについて>

インパクトドライバに付属しているビットは基本的には対応していますが、確認できているものは以下のメーカーです。

ビットはAタイプ、対辺 6.35 mm ※注

H i K O K I、マキタ、パナソニック、リョービ、MAX

上記のメーカーでもビットの対辺が 8 mm の製品があります。これについては対象外となります。

※注) Aタイプというのは、ベッセル両頭ビットのカタログを参照させて頂きました。(メーカーによりサイズの表現は異なります)

「▲注意」 ビットによってはセットした時、ビットが抜けて外れる場合があります。その場合は違うビットを使用して外れないことを確認してからご使用ください。

◆保守・点検

1. 本機使用前と使用後には必ず各部の点検を行ってください。
2. ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいて専用のケースに保管して下さい。とくに摺動部、ダイスの圧着面にはゴミなど異物が付着していないか確認し、いつもきれいな状態にしておいて下さい。
3. 保管の際は以下のような場所に保管しないように注意して下さい。
 - 1) 直射日光が当たるところや、雨や雪のかかるところ。

- 2) 高温・多湿・粉塵の多いところ。
- 3) 倒れたり、落下したりするようなところ。
- 4) お子様の手の届くところ。

◆アフターサービス

1. 保証期間はお買上げ日より 6 ヶ月です。
2. 故障、修理、部品のお求めその他のお問い合わせはお買上げ頂いた販売店もしくは当社営業部までご連絡ください。尚、誤った使い方や弊社の責任でない故障につきましては、保証対象外となり費用を請求する事がありますので御了承ください。

memo

NC-油圧式作業工具総合メーカー

株式会社 **西田製作所**

本 社 〒612-8247 京都市伏見区横大路下三栖南郷 21

TEL 075-611-1136 FAX 075-611-4167

東京出張所 〒136-0071 東京都江東区亀戸 6 丁目 57-16-603

TEL 03-3637-1643 FAX 03-3637-1644

<http://www.nishida-mfg.co.jp>

20200421